

登下校

- ① 登校前に必ず自宅で検温を行う。→37度以上、咳等の風邪症状があれば登校しない。
- ② 登下校、教室、寮内でもマスクを着用する。→マスクがない場合は保健室へ。

校内

- ① 朝のHRで、健康観察に加え、**学級担任が生徒全員に検温**をする。（※ 手指消毒液・物品消毒用スプレーの残量を確認する。）
- ② **生徒への対応**：37度以上の発熱がある場合や客観的に風邪症状がみられる場合は、早退させ自宅療養とする。早退までは指定の待機場所を使用する。治療券または電話連絡で保健室に知らせ、保健室経由で待機場所へ案内する。
- ③ **手洗い(石鹸と流水)**：教室へ入る前、トイレの後、食事の前後等、こまめに手洗いを行う。洗った後は清潔なハンカチ・タオルで水気を取り、ハンカチ・タオルの共有はしない。手洗いが難しい場面では各教室に設置している手指消毒液を使用する。
 ※保健委員長、副委員長を中心に各クラスの保健委員が石鹸・手指消毒液・物品消毒用スプレーの残量を確認する。
 ※昼休み・掃除の時間にクラスの係が石鹸・手指消毒液・物品消毒用スプレーについて、残量が少ないときは必ず補充する!
- ④ **換気**：2方向のそれぞれ1つ以上の窓(対角線上の窓を開けると換気がスムーズ)を広く開けて換気を行う。風通しのいいように意識する
 授業中は常時窓を開けて換気を徹底する。休み時間等窓を全開できる場合は全開にする。体育館のような広く天井の高い部屋でも換気を行う。雨天時は雨が入り込まない程度に開けておく。 ※ 空気清浄機の稼働に関係なく気候上可能な限り1時間に10分以上は必ず換気をする。(教科担任は授業終了時、窓を全開に開けさせ、次の時限の挨拶後に閉めさせる。10分休みの時は全開にする。)
- ⑤ **消毒**：多くの生徒が触れる場所は 1日1回以上消毒する。(昼休み・掃除の時間に、配布している物品消毒用スプレーを使用する。
 ※学級担任が確認しクラスの係は毎日補充する。)
- ⑥ **3密(密集・密接・密閉)**：近距離、特に対面での会話を避ける。(会話を主体とした生徒のグループ学習等極力避ける。)密集した空間をつくらないようにする。

食事

- ① 食事前の石鹸手洗いと手指消毒を徹底する。
- ② 昼食はできるだけ持参する。(食堂・売店での密集を避けるため)教室で昼食をとる場合は机をつけずに離した状態で、同一方向を向いておくこと。(マスクを外すため)
- ③ 食堂を利用する際は十分な距離をとり、密集を避け、特に至近距離での会話は控える。椅子の移動はさせない。
- ④ できるだけ水筒を持参し、持参した水筒・ペットボトル等は他の生徒と共有しない。

部活動

- ① 活動開始前に部員の検温を行う。対応は校内の②のとおりとする。
- ② 「**3密**」にならないよう顧問の指示に従う。
- ③ 活動開始・終了時は必ず手洗いまたは手指消毒を行う。(※ 顧問と部長が石鹸、手指消毒液の残量を確認し毎日補充する。)
- ④ 十分な距離をとり、至近距離での会話・発声を避ける。(咳エチケットの徹底)
- ⑤ 教室や体育館を使用する場合は、ドアや窓を広く開け、こまめに換気を行う。
- ⑥ 部室は密集した空間にならないようにする。

自宅

- ① 帰宅後に手洗い・うがいを必ず行う。(帰宅後すぐに入浴やシャワーを行うとより効果的である。)
- ② 規則正しい生活を送り、十分な睡眠時間をとるなどして自身の健康を管理する。

感染者のプライバシーや人権擁護の問題

- ① 学校、学級担任、スクールカウンセラーと連携を密にし、その擁護に努める。
- ② 場合によっては、カウンセリングを実施する。
- ③ 誹謗中傷等があれば、福岡県私学振興課、私学協会等へ連絡する。

多くの生徒の触れそうな場所

机/椅子/ドアノブ/スイッチ/窓や窓枠の横や下部分/蛇口/PC/掃除道具/掃除道具入れ/共有スリッパ/手すり/トイレの扉・鍵・レバー・音姫などのスイッチ/体育用具/実習用具等…